

河内名所鑑

六

河内名不託卷六

下太子

濟那

本本

丹那

龜井美觀寺

淡川那

淡川村

日那

久寶寺觀音

日那

同村西本弘也堂

鞠化

日那

衣摺

日那

蛇草

日那

阿波國文庫

多津

淡田那

淡田寺

能登洲門

日那

野口

日那

清水

日那

守口

日那

村名一處

日那

依古又天祥

日那

依古地依古門

日那

不悉文庫

厚田堂觀音 日

成法寺 日

東門 日

八尾舊 日

八尾地所 日

八尾表合義寺 日

八尾南本教寺 日

穴太 日

八尾觀音 日

八尾鏡神社 日

梶村寺 日

八木村光の寺 日

伊加崎 日

牧方 日

萬年寺 日

大垣内

天川 日

百海王姫塚 日

竹川 日

禁野 日

中久觀音 日

中久而海王 日

交野

嬰児山 日

波紋 日

宇山 日

養父 日

丁久 日

楠系 日

秋田堂 日

八尾三好寺 日

八尾合義山 日

萱振 日

玉串 日

岩田八幡 日

通川 日

橋系里 日

新用 日

内細 日

河田森 日

玉國様

漢那

金栢

交野那

會あ々ふ賀あ市う

河那

○ 下の 夫子勝軍寺

溪川部



山号ハ棟樹山リキバノエ太子十六歳ノ七月ナナツキよりち卷ニ軍志あり

己亥の卯
 合我ニ安
 とけそ安
 めにち
 居のうき
 ぞ

追々河太子以命やう力えそを河野中興奉

なり孫ありふ孫あり二門よりし太子御るは

かう内ふけ入あふふい本りてれこくはわひてちこふ

らるる今も万に在る太子ハ天ハるるもふく地ハ入る

とて之を以て其の陳とて之を以て其の陳と

太子なりき子又馬たにむかふか父りれきにそ

あひよりいぬ太ふいふよびるせあひ三辣でのまろ神妙

米稼汝情いね
今我々いまわれら
とすとす
と討てとつて

一 佛舍利
 一 太子所自化天王
 一 太子所化二千佛名經一卷
 一 弘法法華經一卷
 一 惠心法華經一卷
 一 佛舍利
 一 百所法分法也如意輪觀音
 一 蘇我大臣化由良門
 一 泰河勝化約由天王
 一 光明寺舊名法興寺
 一 弘法法華經一卷

一金毘沙門土面觀音

寺外東邊觀音堂也

一 金毘沙門土面觀音
 一 太子所化天王
 一 太子所化二千佛名經一卷
 一 弘法法華經一卷
 一 惠心法華經一卷
 一 佛舍利
 一 百所法分法也如意輪觀音
 一 蘇我大臣化由良門
 一 泰河勝化約由天王
 一 光明寺舊名法興寺
 一 弘法法華經一卷

一 御前二首と柱のり

構名院

一 御前二首と柱のり
 一 構名院
 一 御前二首と柱のり
 一 構名院

相尋

元信

日
もろくれおれ就寺さうくは誰と佛さんおびくろ本

正音

ふく矢ふあらしくさうく血の池れあふあれあふあふ

甲冑とちろや血勝ふ軍 保友

挫發れ血氣や厚うく柳 祐可

いちろう花は太ふりりごさうく 六松

花軍奇仙や一巻勝軍寺 忠之

ちうはやあさうく門つたの彼 宗吉

むくもれ棠や悲母本れ堂子 祐の

軍して血乃池とかないさうれ 政公

ろくさあさうく矢塚にう門がま 伴永

名けりおり本あさうく蹄乃常あま 宗健

あうあうむくやあふれくまふ乃 久任

採木ハ人執しせあふさうりれ 家次

月やあふ執くともむれあふあひ 定圃

くまいて血乃池さうさう乃強 黒水

ふもさうくあやうく挫發れ太ふ枕 成之

くまふさうくさうりりや秀の中 全栄

血れ池は月乃さうりりややハ 港良

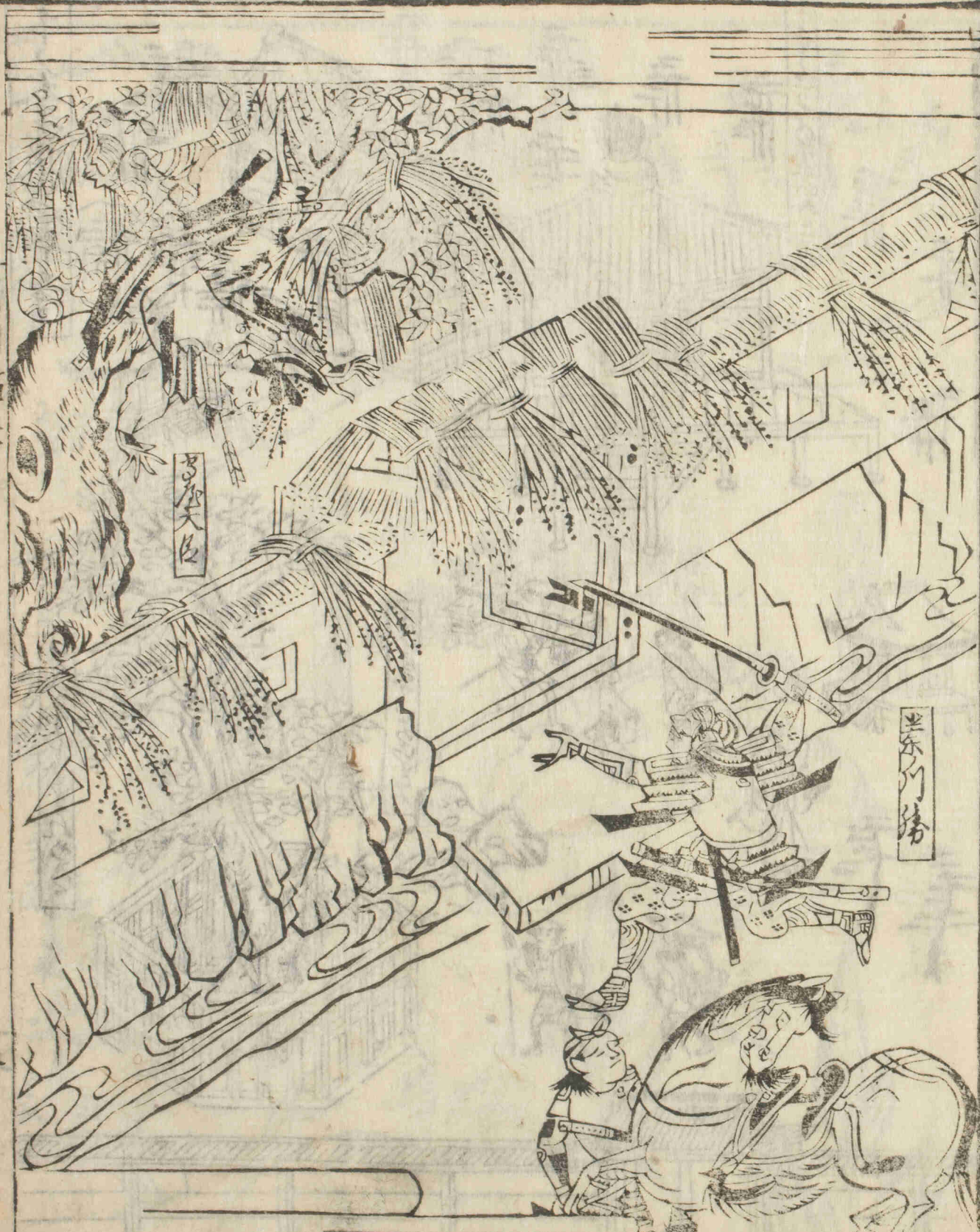
いふ村ヶ株う痛やとちろ金塚 忍桂

着うりい橋村う株乃あ極ふ 柳花

船子之海



坐东川傍



坐东川傍

下太子勝軍寺

河内金剛寺

いふの木の大事めり

七



大文王の廟

大文王の廟



大文王の廟

大文王の廟

大文王の廟

大文王の廟

大文王の廟

大文王の廟

大文王の廟

わうて紅紫うつちんせうの勝軍ち

燕石

ありや板木う珠れ木の葉武者

家次

くもくわやふとにしも朽ぬた子堂

可房

古江やる蹄と見えろぬ中

廣之

○南太寺

西村のちを珠柳の紅也物部府都大の赤社あり

○小本寺

某師堂の本より大より祀也

○東寺

あじー海や一花じしを八本み

香隆

互うく大木うちやうかう宿

改長

木れ中つ楠村う改や花軍

久任

○龜井村

萬松山と観寺土面観事



水と波万の起升の
觀るの向や花の中親寺
佛名れ喝へ来千萬去山

清
定
主

○ 溫門

ふふ川に交れ去る也 柿乃本
溪川やあり路より河紅葉射

春宵
常政

○久寶寺ハ觀音レモ号也本号十二面觀者太子以死
夢ニ長ク此堂舎患焼失寸本号ト集かれて經文
圓まハシ函人の爰に河列久寶寺以有緣ウ云ハあり
すわり
速すみカウ地ノ山ト云一とあり必人怒る則本号ト
均名ヲ下スル海ニ入堂ト建立一あ世ニナリ

本綿糸と久々ほろり此村為

定園

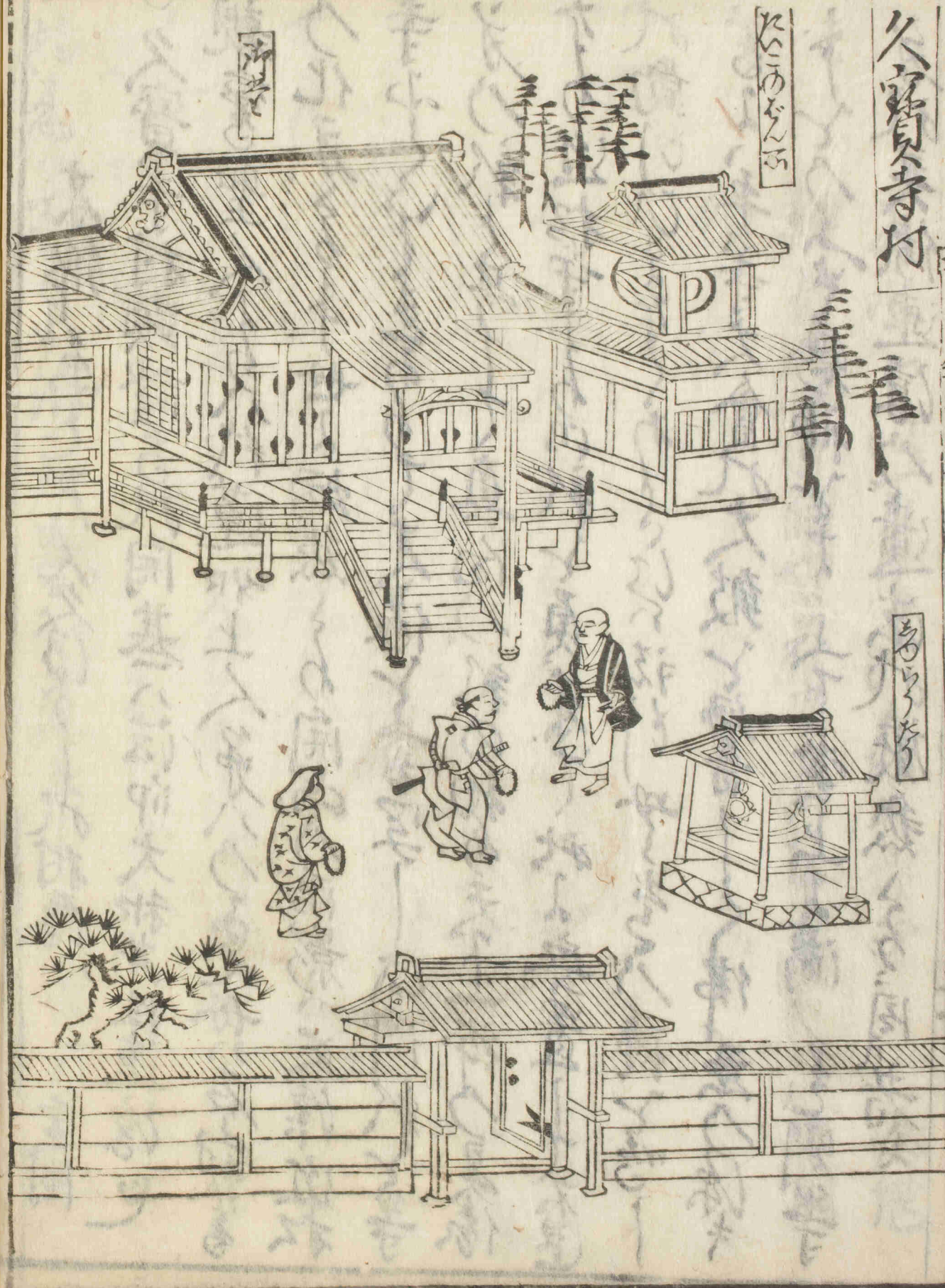
○久實寺村頭證ちれ開基ハ法印大和尚位連淳也
親鸞聖人より八代蓮如上人第八子足母石山親善
の化身なりとす世に炳然とて開山の影ハ大津近松
寺にといへどもありて本像と書写しは御教と等
なり教と号して真向の教の初め天下一統の真像
なり近松寺より此教と員來て此に安置して不違
の勤にひまなくありとて此の教にせざるは疎と唱へ
善より平等大會に大教と稱音しと佛恩の深キ
事とてふも妙神とありて堂上は満つるも則等
なり其像連淳の遺法に嚴然とて同者也

久寶寺村

江内鑑卷六

あけくさ

たてのどい



○ 鞍馬村太子の御代の時百餘の佛師多須那

が子鳥とて佛師は西に伝ス

○ 衣摺村 板太木あり

正音

ひ人も家よきすりつ神木れえの本くのう下條

○ 蛇糸村 大蛇太神まを

同

日 友神樂まふすなりれ梅の木も花はまふまふ

近もあすももろくふりては

一十

○ 尾田堂寺号ハ長樂寺十一面觀音のまを三寸あり花

花庵とちりるふとつた

ね奇

正音

このうな堂ハ御やをてこのまを現世ていりや

八尾山



○成法寺村並に徳寺正観音惠心坊此なり

○東の村石のま地多あり

○八尾山並に少海と云ふあり常れ尾羽八枚ありなり

くまげりーあり村の名と八尾の尾と云ふなり

ゆへに鶯歌り毎に南の森に宿つたりと云ふなり

常の八尾やふくしは地りぬ

八尾山代と地りぬ花の地りぬ

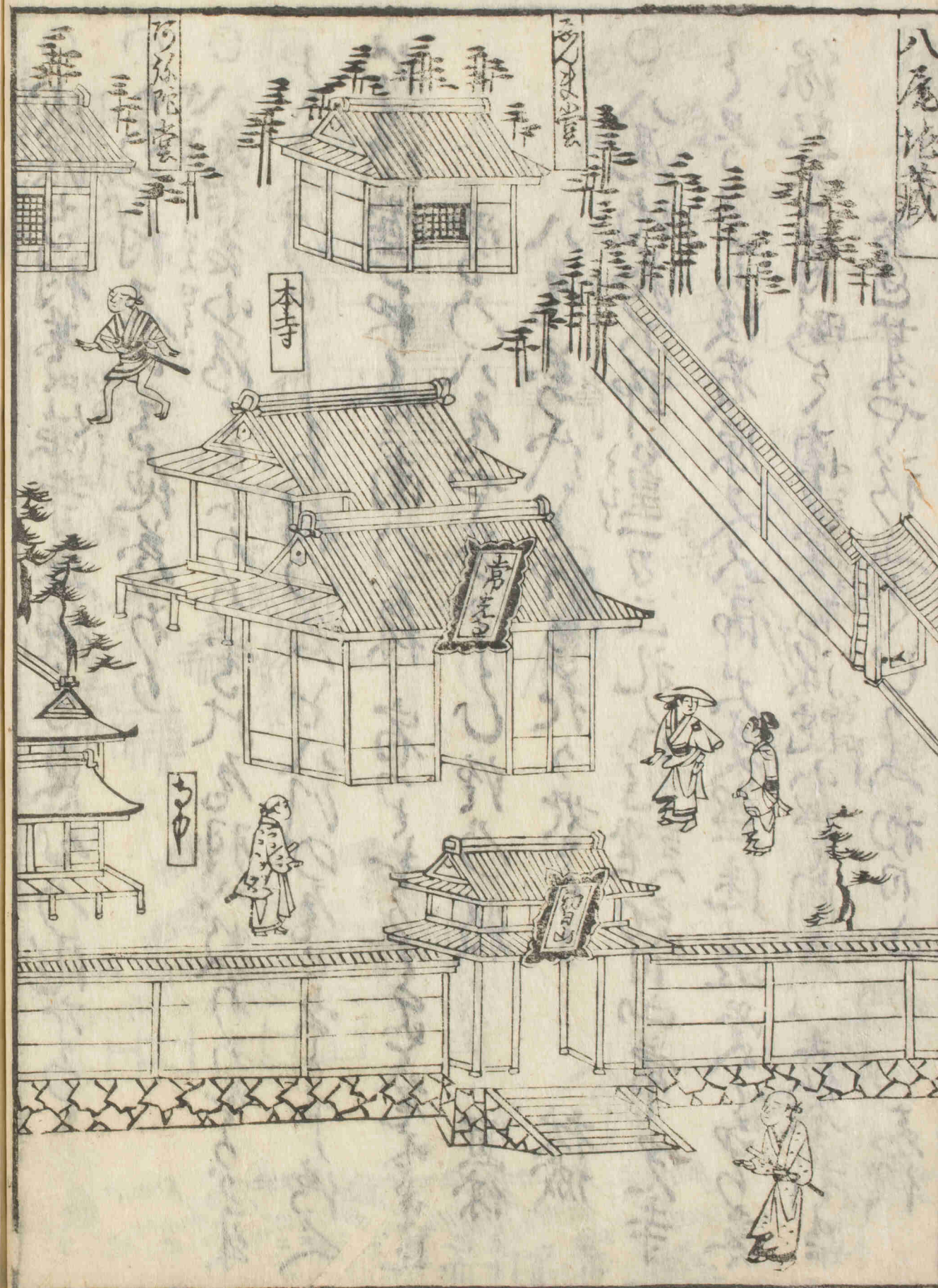
○八尾山並に小野皇二刀三礼の地りぬ初日山常光寺

と号すなり後原又み即大寺並に遠受なり

縁起に有ぬる南の堂に法陀小寺南魔王仏今利

夢に其や初ふくしは初日山

八尾



この寺の住僧は常光寺

の住僧の芝居に似たり初め

定園 弘教

○大坂軍八尾表合戦五月廿四日あるに、
 討死に當りたる者、
 蘇常助解由氏、
 教百勝寺死大坂勢、
 ○八尾村東本願寺より、
 河内江口の連枝より、
 以下向の長八尾川、
 八尾川にけり、



○穴太村大日の千眼寺旧江天照太神素戔日御尊社あり
 ○あは村観音いづより仰承りまうと観音寺と云ふ
 ○あは村浅神社塚本神社ともあつのも形をまゐり
 ね奇 政安

老もいといはれ里よはめりめれ社のいひをふ
 日 正之

知事人ともはれまのうらまをさうのほの掾り
 袖むるや里の名れまおひと 政安
 以新うま餅うらまの神あり 美智
 年終るもたやあはの姫様 下
 海月とうつと境中ん社あり 信安

名江村観音寺

名江神社



神祇やいふ名江氷面鏡

意那

○名江村三好氏墓より

四江れ美いみより名えり

義忠

○名江碑銘ハ山口伊豆も重佐の石塔あり大坂軍

又月六日やのくに木村もつもと合戦して敵殺ぬ

次よ赤丸のふせも後今中ハに能るも弘隆為重佐碑と云

碑銘法印道玄石川丈六文作文三文三文四文四文五文五文六文六文七文七文八文八文九文九文十文十文十一文十一文十二文十二文十三文十三文十四文十四文十五文十五文十六文十六文十七文十七文十八文十八文十九文十九文二十文二十文二十一文二十一文二十二文二十二文二十三文二十三文二十四文二十四文二十五文二十五文二十六文二十六文二十七文二十七文二十八文二十八文二十九文二十九文三十文三十文三十一文三十一文三十二文三十二文三十三文三十三文三十四文三十四文三十五文三十五文三十六文三十六文三十七文三十七文三十八文三十八文三十九文三十九文四十文四十文四十一文四十一文四十二文四十二文四十三文四十三文四十四文四十四文四十五文四十五文四十六文四十六文四十七文四十七文四十八文四十八文四十九文四十九文五十文五十文五十一文五十一文五十二文五十二文五十三文五十三文五十四文五十四文五十五文五十五文五十六文五十六文五十七文五十七文五十八文五十八文五十九文五十九文六十文六十文六十一文六十一文六十二文六十二文六十三文六十三文六十四文六十四文六十五文六十五文六十六文六十六文六十七文六十七文六十八文六十八文六十九文六十九文七十文七十文七十一文七十一文七十二文七十二文七十三文七十三文七十四文七十四文七十五文七十五文七十六文七十六文七十七文七十七文七十八文七十八文七十九文七十九文八十文八十文八十一文八十一文八十二文八十二文八十三文八十三文八十四文八十四文八十五文八十五文八十六文八十六文八十七文八十七文八十八文八十八文八十九文八十九文九十文九十文九十一文九十一文九十二文九十二文九十三文九十三文九十四文九十四文九十五文九十五文九十六文九十六文九十七文九十七文九十八文九十八文九十九文九十九文一百文一百

あしとるや山口伊豆も重佐

如貞

又月雨りあつたやいふ伊豆軍

直道

碑れ銘や名いりて世にあり

佐安

碑り銘れむらや官方に死堂

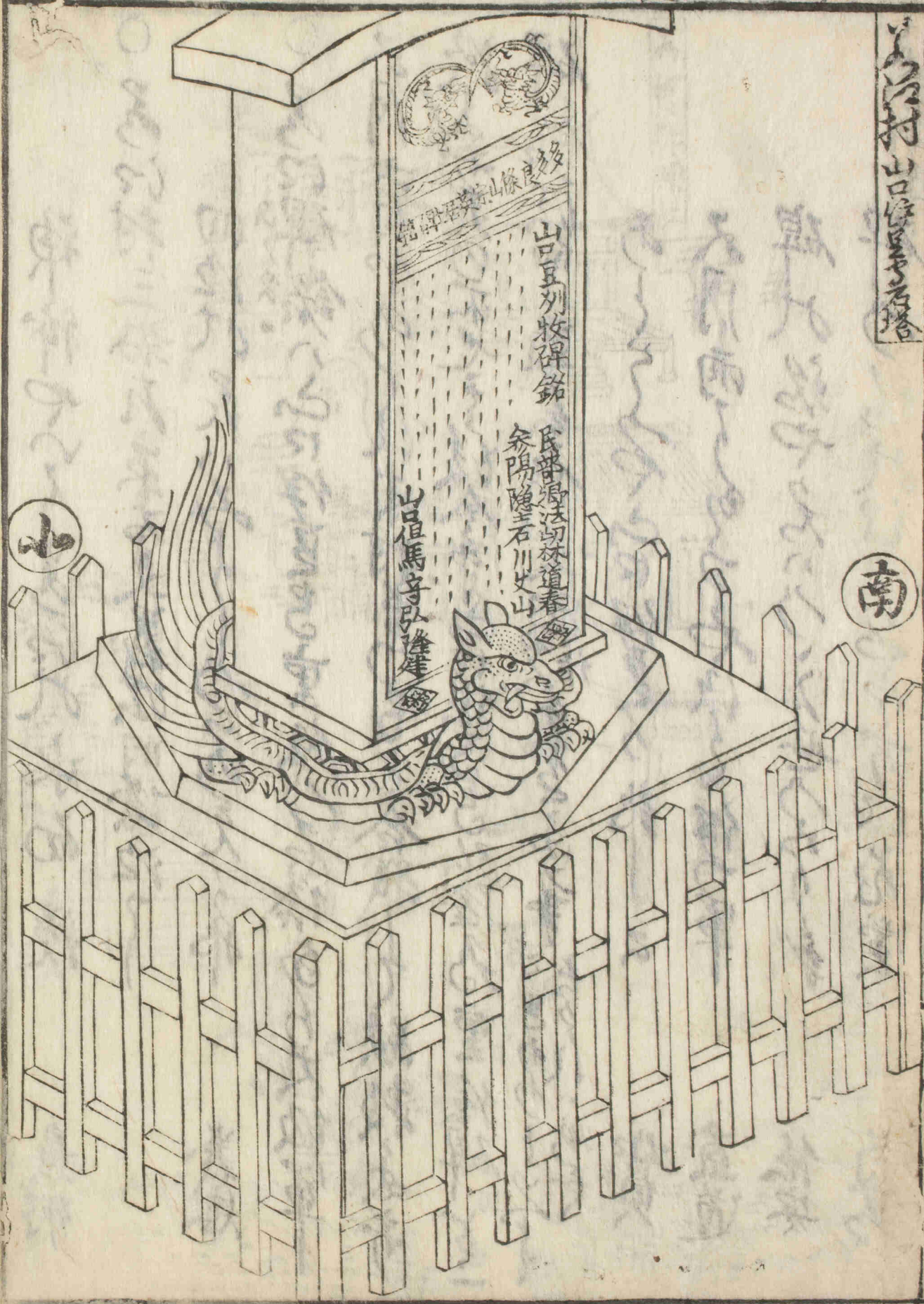
直方

北碑ノ少
 南ノ木村
 北ノ石
 碑アリ
 追々並
 河五市良
 建之

山田山田寺塔

山田山田寺塔

南



萱振牛天王首より委ねし神前より氏子たのむ

より神よりしひるあやうりよりふ定地新成なる恵み

作の江陀給後あり西海の寺新堂家不伽藍其旧地あり

鶯や都もと学ふり窓の梅

表雨ふとくしありやびやの寺

おのらくとくし燕や以新堂

玉串揚枝の石不

依保姫やすく玉振り柳髪

玉振や柳れ髪とくし津風

はなとくし玉串れ揚枝

玉串てくし柳の系は

山田山田寺塔

山田山田寺塔

○若田八幡人皇三十七代欽明天皇此世云々云々云々
三社乃江都と勸請云々云々云々
一社壇乃四ノ入云々云々紫紙金泥乃法花抄あり

通門

師光

しあらそむにせむ川の新海をも境ひてふし船を舟
相寄

次重

日 美さゆとやのやせさくぬり川がたふさふさふさひひつる

友和

殊に男に念力著くといふ所川系れじうひ辰と
 亥月とふくや作らぬり門
 月乃船やねあくうてぬり門
 定圃

空園

○ 稿系里

卷之九

光復

立別いふれ里よあうくを八世に傳へて
久任

久任

たらわいあに黒乃板の本ノ葉之れ悉く今ゆん

波屋ふせころていかしら里あろ

寶鑑

いづれか花見や春城里の人

周

おろしきいふる里の田舎

字園

萬々乃里やも万人の衣

宗佐

○ 第九回

正之

親分
 さふくとも船よつもほろろと極かやと来とら
 菱はる花の波の門新開き
 義忠

○内助の園

正喜

内助の園は龍舟車くらひと閑をわづらひて

日

重次

り莫ふとて心もわづらひてあはれに

○河田 表系 河田郡

魚仲

久方れのともをささげと今朝は河田の表系を

日

後成

ふ門れや河田の原に捕りてあはれに

○玉田横野 茨田郡

後光

あつるを玉田の野にまきし物指をさし

あせふと碎木は葉をささげ六則死にさつたの葉をいし

和奇

友和

と玉田横野の原にまきし物指をさし

あはれを玉田の野にまきし物指をさし 野鹿

西風やあつる玉田の原にまきし物指をさし 保友

○會合賀市 河田郡

よとくあはれ

あはれを玉田の原にまきし物指をさし

和奇

友和

酒とあはれを玉田の原にまきし物指をさし

あはれを玉田の原にまきし物指をさし 二十

○多瀬 茨田郡

家長

あはれを玉田の原にまきし物指をさし

新

友和

蛙野はれこのあやうきうきとて去れり

追や野はとくく門乃去 政公

くひは虫声きく鞍の野は 賀

○清水池 茨田部

数作

濁つてくきふれ池の氣とてか人河は清なる流をのり

次重

○守は 番地名也 茨田部

りのはり梅の白ひや番れ也 多故

時をかふいゝ愛うすりには 隆玄

賄う屋のりにはるり水柱か 政長

○村の名ふ一畝二畝三畝十畝迄あり茨田部

一畝ふ初者さうせふやとみ 久次

村の名ふ二畝白水やうと水 眞休

三畝ふとわうわ村のすまうふ 藻川

秋れも人のりきんととるこふ 良弘

を名ふと名ふともうやなふ 黒水

○伏太文天禄一番村也

○伏太池伏太川馬村也

里人のいづくに枝の梅の花がなぬ月を来つゝといひ
橋より山物定おくるあま二枝かゝるき瑞穂は神
木とせしりといふて取極も永くまぶされぬめと
ふもる神も梅もいつらるゝとかないともいぬが
かう橋本の梅の四神木と稱してゐるやれ也
さじし書の上です天れおそれいづからんた
九和寺うたならんとやらにゆり蒙子ア一ふ
月中旬虫なりよあ情かりともなりを虫徳人
れふあにもなりといとおどしかうするなり

天神

夕顏巷

西麓以林土秘宮檀家世儒宗
任宰宮殿有精靈生有節
花時却賞碧琅玕

松

白陽子

營相儼然才德降蒼髯獨
立白儒風生上一夜顯靈異
絕勝夢中十八公

梅

三子

冷葉東風紅句芳清標
今古對常君飛梅似振

燔秘勢捲盡海西千里雲

後天疎雷船等

十一面觀音

白蓮花
赤蓮花

三幅一對法眼探幽箋

雲綸天袞

栲栳

同等

尚政朝臣之治已所香合梨地

うさぐさよ蒔繪え
菊の竹紋あり

竹內以筆菊乃繪掛也一幅

上より内年つて和歌と

秋の野々草れ久く咲ぬとし名を子花の菊ぬ

紫野大德寺江月和尚掛為一幅

寬永廿癸未載二月日請伏多文

惟時再興卒賦一偈以祝遠人三

依多比野又西府一樹梅花

面目真七百餘年德惟積南

至大自在天祥

宗玩祥

高仙傳八八幅款方仿奇八竹門所筆

皇會書一冊奇筆

依太文記法中道春筆

實鈕銘武藏國豐崎郡住大和守包定

菅家文章第十二冊

觀者乃緣起

性衣より依太文緣起繪入六卷あり

右の縁起六巻よりやまぎと八幅山法童切の筆とある

より外實地多しといふことと云はるる一冊あり

菅相寺山号ハ半林山院号ハ玉苑院切号ハ東坊若七坊とあり

觀者堂十一面觀者乃基并他牡丹芍薬あり

依太文

傳勢

我にこのおゆつり所さしにれ池の玉りふもふらありと記

依太文

後款

約なりといふふゆんさしに校するゆふやまきと記

相寄

ふき

依太文の趣ふるまう杉梅八日廿さるる氏本うらじ

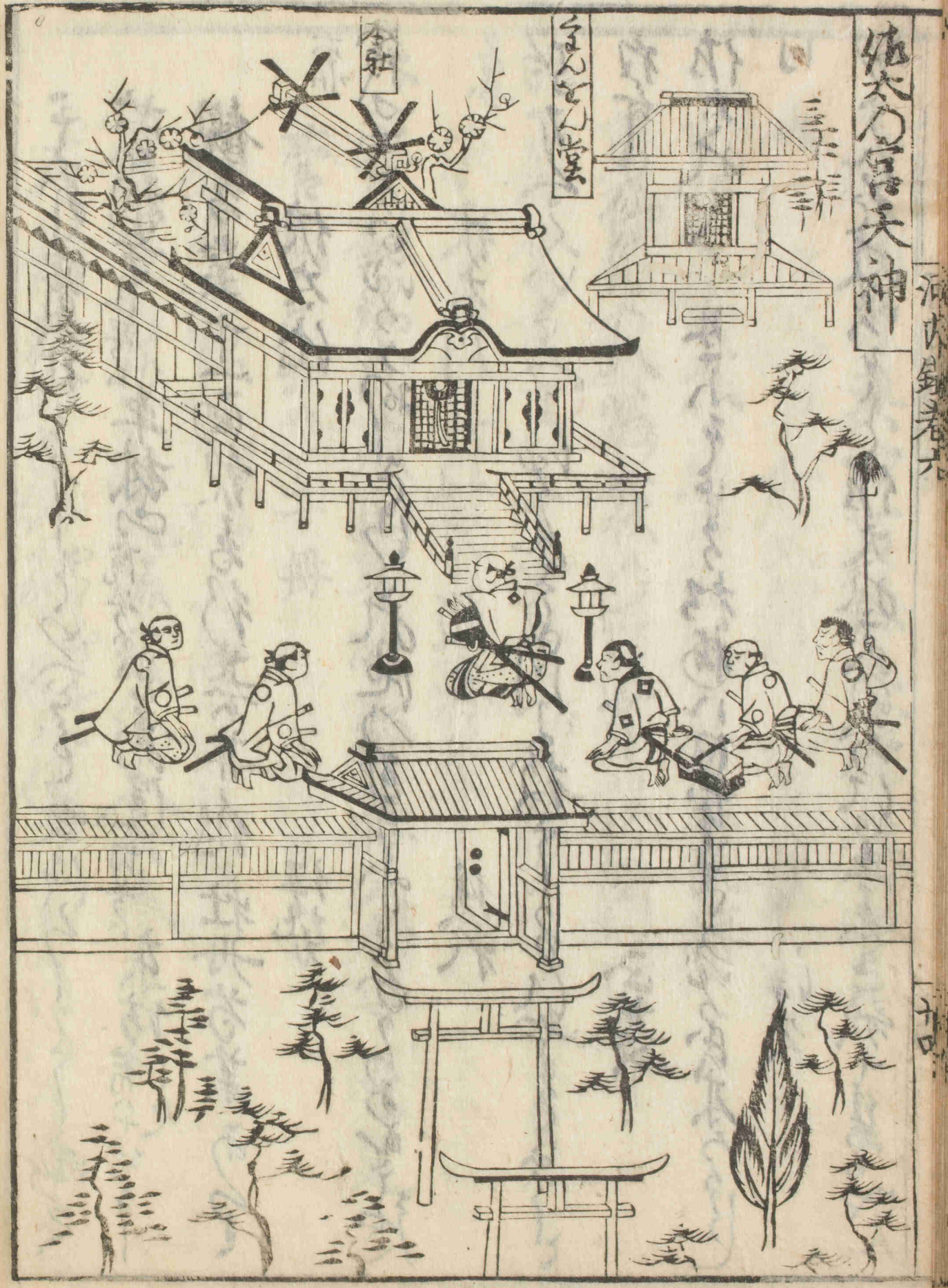
日

澤久

何んたれ候そと依太文のふに筆をまき款し集りやん

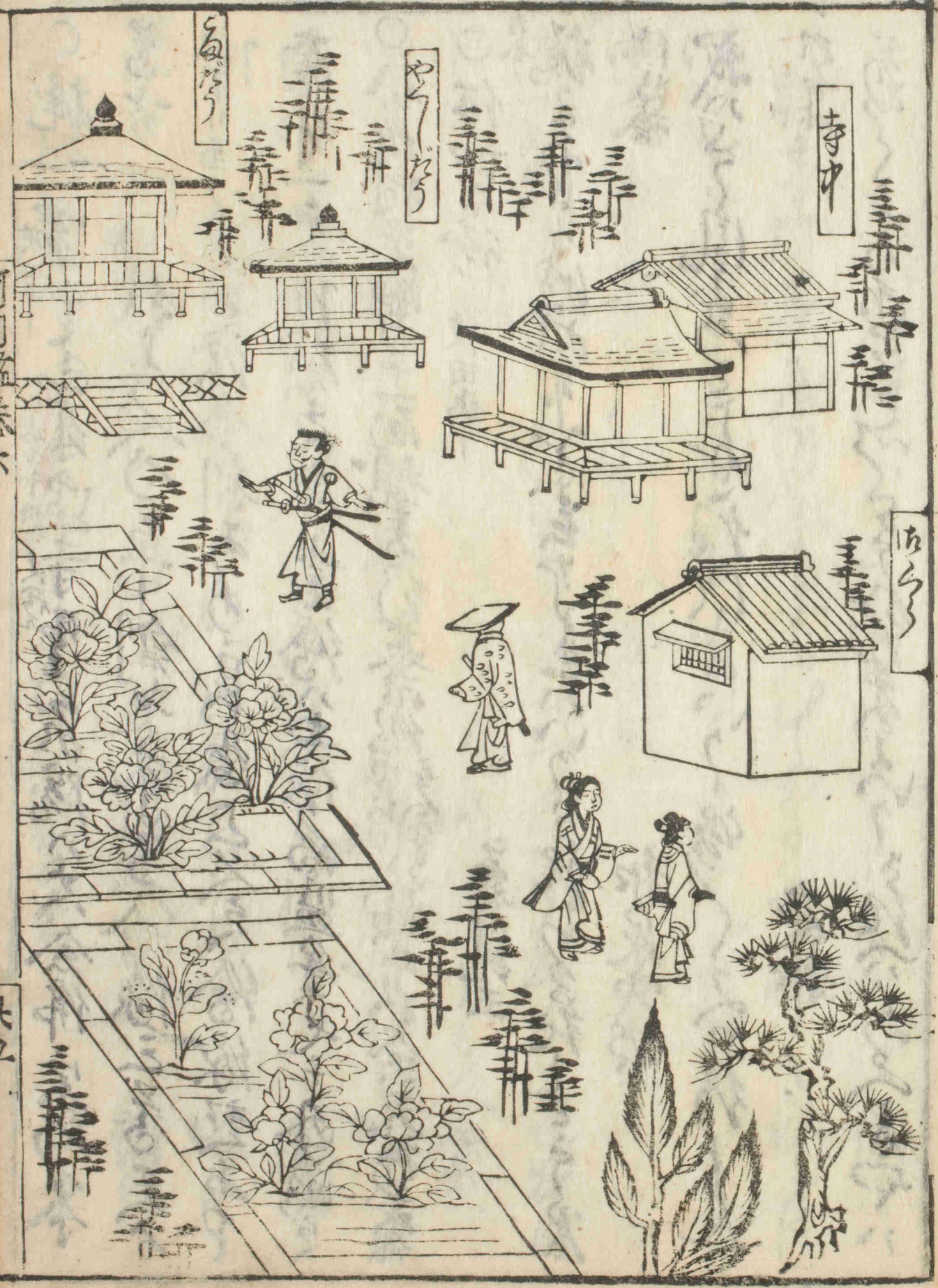
依太の宮天神

河内縣志卷六



寺中

あらし



○^{茨田郡}梶村紫雲^{已未年秋}山^山寺^寺聖^聖名^名院^院八^八大^大念^念佛^佛宗^宗乃^乃本

寺^寺方^方之^之西^西教^教上^上人^人乃^乃草^草創^創也^也本^本寺^寺繪^繪像^像三^三尊^尊天^天分

降^降リ^リ至^至佛^佛也^也以^以全^全利^利あり^{あり}良^良恐^恐上^上人^人之^之繪^繪像^像起^起あり^{あり}

南^南部^部一^一系^系院^院殿^殿之^之序^序書^書繪^繪ハ^ハ土^土依^依乃^乃監^監業^業也^也外^外略^略之

○八^八曲^曲村^村之^之土^土面^面觀^觀者^者乃^乃基^基地^地也^也八^八曲^曲平^平以^以至^至天^天祥^祥者^者

○^今修^修加^加之^之傍^傍 茨^茨田^田郡^郡 兼^兼覽^覽王^王

梶^梶よ^よあ^あら^らけ^けれ^れ事^事と^とま^まか^かり^りと^とハ^ハい^いふ^ふに^にら^らた^たと^とう^う人^人

後^後拾^拾 和^和泉^泉武^武郡^郡

我^我ハ^ハ之^之風^風よ^よう^うと^とふ^ふに^にほ^ほに^にま^まい^いう^う傍^傍く^く又^又ハ^ハい^いふ^ふ人^人

和^和可^可 友^友和^和

毎^毎く^く一^一り^りの^の事^事と^とふ^ふに^にら^らた^たと^とう^う人^人と^とや^やハ

た^たハ^ハ雨^雨時^時い^いふ^ふに^にハ^ハ修^修り^りと^とふ^ふ 保^保女^女

牧^牧方^方乃^乃茶^茶屋^屋は^は敷^敷き^き青^青い^いや^やハ^ハ約^約な^なと^とい^いふ^ふに^に

時^時い^いふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にい^いふ^ふに^にわ^わか^かる^る事^事は^はな^なし^しと^とい^いふ^ふに^に

中^中は^はも^も茶^茶海^海乃^乃付^付ア^アと^とい^いふ^ふに^に 茨^茨田^田郡^郡 言^言周^周

た^たハ^ハ牧^牧方^方と^とい^いふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にい^いふ^ふに^に今^今も^も人^人と^とい^いふ^ふに^に

日^日 今^今も^も人^人と^とい^いふ^ふに^に

と^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^に

後^後ハ^ハと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^に

今^今も^も人^人と^とい^いふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^に

九^九と^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^に

若^若て^てと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^にと^とう^うと^とふ^ふに^に

ひさしあふ

大坂のなる



萬年古松と号す土面觀焉
天守 春日乃仍強

佛と云ふ乃素師ハク宣ハク分弘法ハク之ハク形ハク之ハク心ハク之ハク是ハク修ハク持ハク

醜醜聖寶修正開基山也

○大垣内いまいまといふと追ふと城の口へ永けをふふと

○天川文野那

晨の秋の楊中朝清もくれあふ河天の川波

[illegible]

星合れ光やうにうめゆらん野所那乃天此河水

一有

天河ふりまがひとほしくとるるのせよ七月七夜し

正香

龍のひがもとと天れ川をうろたへた人にもあ

日 龍のひがもとと天れ川をうろたへた人にもあ

家おもへ天れ川流るにあら氷さへんむとふとせ

日 家おもへ天れ川流るにあら氷さへんむとふとせ

刈りし七々書よまかへるん天れ川原は橋とりつ

星や水よ流あひあま天の川

天れ川今そ月つ同乃二り

天つ川いひさ月や東船なり

七々つ星田や出合ふ天つ川

名とりつ天つ川あや俄事

○百渡王子の姫の掬いづみ宮女いづみ掬いづみのまがら

○竹川 文野那 躬恒

紅雲をれ流る河竹川つ閑れなむつてふつらん

赤集 陸院

神代よりるるうね竹川れりよ君りわがき後ん

相寄 友和

しるしにうへ竹川あふれむせいにうへいさふり

日 赤隆

竹川れあふれりるるるるるるるるるるるるるる

日 政公

竹川はあふれりるるるるるるるるるるるるるる

日 次重

竹川乃鮎ハナハコウカヨ
澤氏洞ハナ
二十

和田新義王建立之

えうの

驚とくふとく禁野子
香隆

一夢之禁野乃里ノ郭云
永富

○中支村西方寺正觀音所基他即長二尺二寸

○石坂王乃受ありて廣く至る原宿伽藍乃同記を

百
休
王子來
弼
聖
德
一
右よ
爲
す
今
を
幸
ひ
ま
ふ
と
あ
は
れ

○交野
後旅

又や人交野乃とみ極うの衆れ者らるゝ去乃ゆめ

垢石

あふれりうきと書ふにびかろくと云ふ明人

好哥

月曜 文野乃小野小芋とてはあま里人妻と云

友和

驚かすともゆゑに免とてあつら
 場をたてり

号ハ奇ヲツヤ屋と云野
為意

ちまたのゑを文部卿に
常

乃暢乃銀子より羽衣を脱
 空久

持ありかゝ野の衆の救ふ
 擔格

水も何や我もさるるらん
 一荷もやうへるる野の月と花
 井もさるる野の梅も
 見ゆるるさるるさるる
 くらもさるるさるる
 帷子もさるるさるる
 さるるさるるさるる
 徳もさるるさるる
 こもさるるさるる
 海もさるるさるる
 鳴もさるるさるる

蒲田
 津宮
 益壽
 清風
 政公
 似柳
 政公
 常有
 周必
 心後
 心後

○嬰児山 文野郡

我もさるるさるる
 月もさるるさるる

友和

月もさるるさるる
 こもさるるさるる
 花もさるるさるる
 乳もさるるさるる
 木の月もさるるさるる
 秋風もさるるさるる
 子もさるるさるる

富吉
 松緑
 友和
 野廣
 徳清
 富吉

○波瀬 満院観る寺上り観る 此處 古くは本宮極有と也
 昔懐き親王諸王たり極ににありうとてまひてまゐりて
 よかりぬく夜とわくさうさうとてあつてもみち所とくう
 まのうとてあつてもみち所とくう
 集

老中ふ絶く極なりたりせはまれんはうとてうう
 月 有常

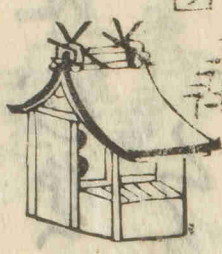
ちよかといふ極は人々あつてはまれんはうとてうう
 集 信明

うらつてもいふ極は人々あつてはまれんはうとてうう
 ね奇 友和

うしたのうういふ時代はく絶なりたりはうとてうう
 沿く奥のうや諸り極 西橋

波瀬観る寺

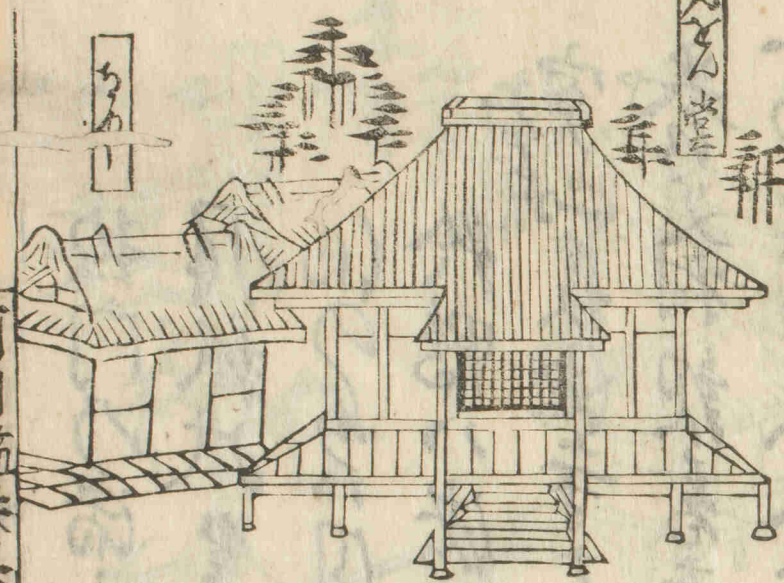
ちよ



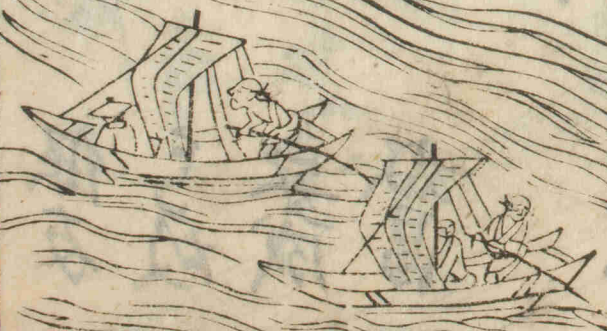
ちよ

ちよ

新

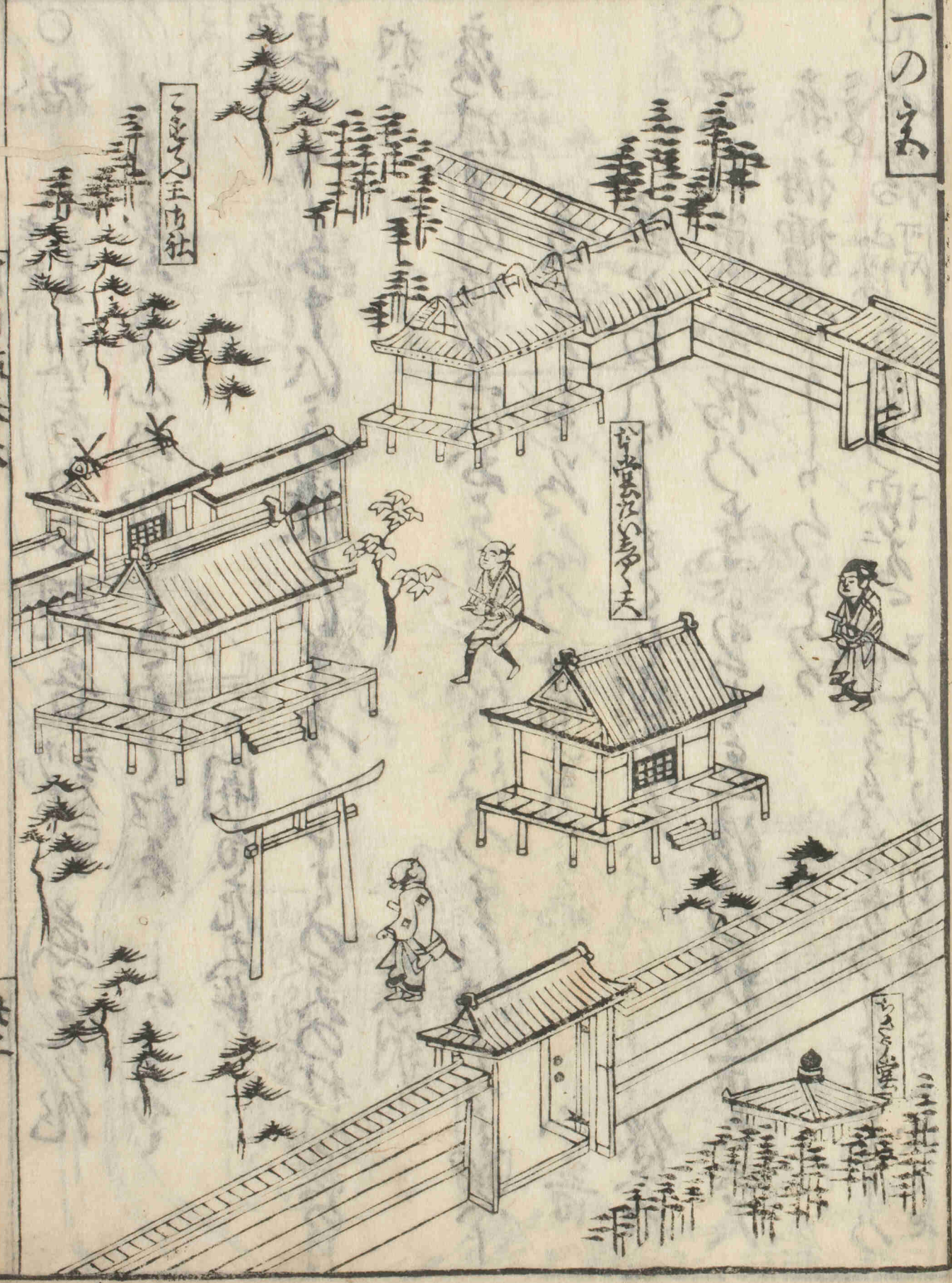


ちよ



惣門の諸より名ありと都に
 月新れ美にさつといかみさ
 内のみ風となさるのみさ
 於鴨ハ諸のえの神よりか
 〇長徳寺まも院正觀者他ふ知
 〇養父村觀者寺十一面千手仰長慈覺ノ作
 〇一乃ま牛以天王帝釈天本堂ノ本也四天王も有
 地蔵堂とる東西へ松原四丁程あり
 くらまれ一乃まけや梅ノ花
 鹿乃やえり一乃園も一乃ま
 初極らりらるゝのそ一のえ崔
 保友 安成 奴昌 一干

一のえ



こまの玉市社

むすねの寺

山城京

安原氏 貞室 四首 義政 二首

大和

法隆寺 法橋哥慶 二首 南都富貴氏 野麻 二首

三輪 芳昌 二首 勝信 二首 三輪 則武 二首

三輪 浮淳子 二首 利常 二首 三輪 清信 二首

宇陀食 扇斗 二首 一之 二首 宇陀食 草榮 二首

宇陀久野氏 利光 二首 由久 二首 宇陀久野氏 秀經 二首

今井田井氏 友和 二首 正風 二首 今井田井氏 次重 二首

南都高昌住

成明 二首

三輪 豐昌 二首

三輪 粉色子 二首

宇陀 鉄銅 二首

今井森田氏 兩謙子 二首

元信 二首

宇陀 周永 二首

一雅 二首

吉方 二首

依田小村氏 道意 二首

名柄 一雲 二首

高里昇氏 似柳 二首

小松内村 定廣 二首

狹井赤土氏 惟貞 二首

牧村 受父 二首

長庫 弘 二首

良綱 二首

新在野氏 仁次 二首

西室吉村氏 心寬 二首

延命寺 宗喜 二首

名柄中村氏 心武 二首

小松内村 之次 二首

狹井赤土氏 永房 二首

寺戸村 正賢 二首

今井田井氏 常征 二首

五所 良弘 二首

新在野氏 義元 二首

通德寺村氏 周圓 二首

依田小村氏 善心 二首

名柄中村氏 心儀 二首

小松内村 良源 二首

狹井赤土氏 自延 二首

空然村 仙野 二首

今井家老氏 一有 七首

下市高慶氏 忠貞 二首

五所 良長 二首

新在 松和 二首

依田小村氏 清風 二首

名柄中村氏 心俊 二首

高里小村氏 言子 二首

狹井赤土氏 光之 二首

下田 草葉 二首

唐谷村

精思 二首

心則 一首

二笑子 一首

時春 一首

清經 一首

二階堂

仲也 一首

信道 一首

信昌 一首

信昌 一首

信昌 一首

清經 一首

山角村

秀立 一首

秀立 一首

秀立 一首

秀立 一首

秀立 一首

秀立 一首

中村森氏

政公 一首

政公 一首

政公 一首

政公 一首

政公 一首

政公 一首

寬弘寺

光吉 一首

光吉 一首

光吉 一首

光吉 一首

光吉 一首

光吉 一首

上太子村

梵達 一首

梵達 一首

梵達 一首

梵達 一首

梵達 一首

梵達 一首

山田村

重勝 一首

重勝 一首

重勝 一首

重勝 一首

重勝 一首

重勝 一首

山田村

鉄牛 一首

鉄牛 一首

鉄牛 一首

鉄牛 一首

鉄牛 一首

鉄牛 一首

山田村

正重 一首

正重 一首

正重 一首

正重 一首

正重 一首

正重 一首

大黒村

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

譽田

淨宣 一首

淨宣 一首

淨宣 一首

淨宣 一首

淨宣 一首

淨宣 一首

野中村

雲紙 一首

雲紙 一首

雲紙 一首

雲紙 一首

雲紙 一首

雲紙 一首

津堂渡田氏

宗信 一首

宗信 一首

宗信 一首

宗信 一首

宗信 一首

宗信 一首

三宅村

一守 一首

一守 一首

一守 一首

一守 一首

一守 一首

一守 一首

布衣

安求 一首

安求 一首

安求 一首

安求 一首

安求 一首

安求 一首

住道村

望勝 一首

望勝 一首

望勝 一首

望勝 一首

望勝 一首

望勝 一首

國分原氏

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

唐谷村

精思 二首

心則 一首

二笑子 一首

時春 一首

清經 一首

二階堂

仲也 一首

信道 一首

信昌 一首

信昌 一首

信昌 一首

信昌 一首

山角村

秀立 一首

秀立 一首

秀立 一首

秀立 一首

秀立 一首

秀立 一首

中村森氏

政公 一首

政公 一首

政公 一首

政公 一首

政公 一首

政公 一首

寬弘寺

光吉 一首

光吉 一首

光吉 一首

光吉 一首

光吉 一首

光吉 一首

上太子村

梵達 一首

梵達 一首

梵達 一首

梵達 一首

梵達 一首

梵達 一首

山田村

重勝 一首

重勝 一首

重勝 一首

重勝 一首

重勝 一首

重勝 一首

山田村

鉄牛 一首

鉄牛 一首

鉄牛 一首

鉄牛 一首

鉄牛 一首

鉄牛 一首

山田村

正重 一首

正重 一首

正重 一首

正重 一首

正重 一首

正重 一首

大黒村

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

譽田

淨宣 一首

淨宣 一首

淨宣 一首

淨宣 一首

淨宣 一首

淨宣 一首

野中村

雲紙 一首

雲紙 一首

雲紙 一首

雲紙 一首

雲紙 一首

雲紙 一首

津堂渡田氏

宗信 一首

宗信 一首

宗信 一首

宗信 一首

宗信 一首

宗信 一首

三宅村

一守 一首

一守 一首

一守 一首

一守 一首

一守 一首

一守 一首

布衣

安求 一首

安求 一首

安求 一首

安求 一首

安求 一首

安求 一首

住道村

望勝 一首

望勝 一首

望勝 一首

望勝 一首

望勝 一首

望勝 一首

國分原氏

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

重房 一首

國府 一利 八分 國府 久女 一角 國府 竹葉 一角 國府 友次 一角

太倉 如元 八分 太倉 正元 一角 太倉 良惠 一角 太倉 利房 一角

柏原 津次 一角 柏原 久次 一角 柏原 常政 一角 柏原 利房 一角

大井 重良 一角 大井 為三 一角 大井 信之 一角 大井 重德 一角

木中 隆玄 一角 木中 香隆 一角 木中 重次 一角 木中 忠之 一角

小井 隆玄 一角 小井 港良 一角 小井 金榮 一角 小井 宗直 一角

尾木 六松 一角 尾木 燕石 一角 尾木 乃次 一角 尾木 林城 一角

同 可次 一角 同 正之 一角 同 正利 一角 同 每雄 一角

每雄妻 一角 好貞 一角 仲宗 一角 仲重 一角

之吉 一角 西教 一角 友茂 一角

政安 二角 信安 一角 萬世 一角 晚翠軒 一角

直道 二角 下 一角 義忠 一角 春霄 一角

正音 二角 深養 一角 忠幸 一角 親吉 一角

良玄 二角 典僧 一角 望之 一角 權板 一角

步月 二角 正次 一角 貞花 一角 澤久 一角

蒲鋤 二角 正家 一角

和泉塙

永重 一角 成之 一角 顯成 一角 政長 一角

光伯 五勺 教二 一盾

攝別大坂

貞因 五勺 松山氏 教也 八勺

如貞 五勺 井田氏 樂也 二勺

西鶴 五勺 井田氏 以仙 七勺

良賢 五勺 藤原氏 言因 一盾

忠昌 二勺 氣食氏 安成母 一勺

定親 七勺 林氏 定軌 二勺

元由 八勺 室佐氏 有安 一勺

正勝 二勺

意翔 七勺 多田氏 立以 七勺

重安 二勺 保勢村氏 清勝 三勺

賢也 一勺 福住氏 性空 二勺

如松子 一勺 氣食氏 高故 二勺

安成 四勺 曾氏 曾立 二盾

宜休 九勺 中林氏 藻川 三勺

初氣 一勺 岩井氏 然音 二勺

素玄 一勺 松山氏 松縁 七盾

友也 一勺 友定 一盾

定圃 一勺 高河氏 重栄 二勺

天満

梅翁 二勺 西氏 保友 一盾

久任 七盾 田中氏 友夢 二勺

政長 一盾 平氏

天王寺

以春 一勺 道次 一勺

後栄 一勺

平野氏

祐可 二勺 家次 二勺

伊永 一勺 宗继 一勺

延寶七年己未七月吉日

阿波國文庫

洛陽書林章苑寺

西村七郎公光閑板

110X
160
6